
奇跡 .

? к и я и м і ?

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奇跡・

【Nコード】

N1420J

【作者名】

? K U R U M i ?

【あらすじ】

けっけの過去を聞いて、咲はけっけが嫌いになる。

好まれてることにいやになり、
自分からけっけに嫌なことを言い放ち
嫌われようと努力をする咲だが、

嫌われよう。

「キモイ。」ふと気が付くとけっけに言っていた。

「は？ 黙れバカ。」私がこーやってけっけに冷たく接しているのには理由がある。

けっけの親友、山田櫛斗から聞いた話。

けっけは前、1組の相沢奈央ちゃんを好きで、好きで好きでス
トーカーをしたことがあるとか、

色々なものを奈央ちゃんに買ってあげたりとか、

結構クラスの女子全員には告ったことがあるらしい。

クラスの女子全員の噂は本当だった、同じ班の真由に聞くと真
由はけっけに3回告られたらしい。

ストーカーまでしてんなんで、私には気持ち悪くて、近くに居
たなくて。

いっぱいいっぱい傷つけて私を嫌わせようとした。

丁度今は5月の梅雨時。

北海道は雨が降ってとても寒い。

ある帰り、菜奈と一緒に帰っているとけっけが歩いていた。

すると菜奈が「けっけに、本当に咲ちゃんが好きか聞いてあげ
る」

「ちよっいいよっ！」それでも菜奈「けっけ……！！！！ち
よつと来て」

とけっけを呼んでしまった。

けっけは走ってこっちに向かってきた。

「何?？」 「あのさ、けっけの好きな人の名前って苗字あわせて何文字?？」

「・・・6文字」 「それは山本咲??」

「・・・いや、さあ誰でしょう?？」

今の反応と顔ですぐ私と分かった。

正直言って私は気持ち悪いと思った。

こんな好かれて私までストーリーカーされたらどうしようとか、つきまとわれたら最悪とか頭を過ぎっていた。

そんなことを想いながら眠りについた。

——次の日。

ガラッ「オハヨ」 「元気に皆に挨拶をして席に着いた。横にはけっけと櫛斗が喋っていた。

意味もなく私はけっけに「キモイ。」とまた言っていた。するとけっけが睨んで「は??お前いつつもなんなわけ、まじ意味不」

と怒った口調で言ってきた。

でも私はけっけに嫌われるためなら何でも言った。

そんな事が続き、一ヶ月が過ぎた——・・・。

玲奈ちゃんが呼んでいた「咲ちゃんっ」

「ん??どしたのん」 「相談が、相談があるのっ」

「どうしたあ??」 「・・・あのね、これ見て。」

玲奈ちゃんから紙切れを貰った、

内容を見ると、汚い字で、でも私からは心がこもった様

に書かれていた。

——玲奈へ

いきなりだけど、俺は玲奈が好きだ。

「うっは！！w ラブレタ♪」 「誰からか。わかる??」

・・・けっけ??

「けっけ??かな??」 「そうなんだよね・・・ウチけっけに告られたのこれで3回目だよ、」

「うわっただけ告ってんの!」(笑) 「どうしよう、これから宿泊学習で気まずい・・・」

「まあ返事は玲奈ちゃんの気持ちを言ったほうがいいよっ」
笑って玲奈に言った。

何故か心が少し痛かった。

でも痛みはすぐ消えて、宿泊学習にむけてのわくわく感だけが心を生めた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1420j/>

奇跡 .

2010年10月22日00時25分発行